

未熟家畜ふん堆肥の施用について

4月から5月の間に組合員の皆様から、電話や来店等による問い合わせが104件ありました。その中で、特に注意していただきたい未熟堆肥の施用について記載します。

- (1) 家畜ふん堆肥の施用について →ガス障害に注意してください。

堆肥施用の失敗で多いのが、未熟堆肥を施したときの失敗です。

未熟堆肥を施すと、発芽不良、立ち枯れ、アンモニアや亜硝酸などの有毒ガスが発生しやすく、根や葉に障害を与えます。

また、未熟堆肥の臭いを害虫がかぎつけ産卵し、幼虫が根を食害する被害が多くなります。

1) 乾燥ふんと発酵ふん

①乾燥ふんは、乾かしただけなので、土中で水分を含むと生ふんのような状態になり、肥やけ、ガス障害が発生する場合があります。

②発酵ふんは、微生物が消化しているので、ガス障害もなく、肥効も穏やかです。

2) 鶏ふんによるガス害に注意

家畜ふん堆肥の中で、腐るのが一番早く、ガス障害や肥やけが出やすいので、播種や定植間近の施用はしないで下さい。トンネル被覆やマルチは発生を助長します。

3) 家畜ふん堆肥等の施用順は次のとおりです。

家畜ふん堆肥 → 石灰資材 → ヨウリン → 肥料の順に行う
(植付1か月前) (植付21日前) (植付14日前) (植付14日前)

4) 家畜ふん堆肥適正施用量の目安は下記のとおりです。

種 類	適正施用量 (kg/10a)
鶏ふん堆肥	200～300
鶏ふん＋植物質堆肥	300～500
豚ふん堆肥	500
豚ふん＋植物質堆肥	500～1000
牛ふん堆肥	1000
牛ふん＋植物質堆肥	1000～1500

参考
植物繊維質堆肥
2～3t/10a

しゃくし菜栽培者を募集しています

「ちちぶ菜漬け」の販売が順調に伸びており、26年度の生産量を増やしていきたいと考えています。

そこで、しゃくし菜を栽培してみたい希望者を募っています。

栽 培 播種：9/1～9/15頃 収穫：10/25～11/15頃

出荷物 生産者宅へJAが荷を取りに行く→JAが運搬→皆野農産加工センター

栽培を希望される方は、営農経済部営農販売課までご連絡下さい。

JAちちぶ本店営農経済部 0494-63-2020